

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	森林管理課
職	課長
氏名	河内 清高

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
木材等の林産物の供給のみならず、水源のかん養、土砂の流出の防備、地球温暖化の防止など、様々な公益的機能を有する森林を健全な形で次世代に継承する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
①林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展 ②木材産業の体制強化と県産材の利用拡大 ③多様で健全な森林の管理・保全						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①	県産材の供給量(年間)	148 千m ³	R2 年度	300 千m ³	R12 年度	いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021(令和2年度作成)
②	製材品出荷量(年間)	3.3 万m ³	R2 年度	7.0 万m ³	R12 年度	いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021(令和2年度作成)
③	山地災害危険地区における治山事業の着手箇所	251 地区	R2 年度	314 地区	R12 年度	いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021(令和2年度作成)



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 林業収益力の飛躍的な向上に向けた、「意欲と能力のある林業経営者」によるICT等を活用した効率的な経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「意欲と能力のある林業経営者」によるドローンやICTを活用した安定的かつ効率的な林業経営の推進 ・森林情報のクラウドでの管理・共有や、施業提案の効率化、素材生産経費や輸送経費の削減等を推進 ・主伐・再造林の一貫作業や低密度植栽、下刈り回数の削減など、再造林の低コスト作業体系を普及による主伐・再造林の推進
① 林業を魅力ある産業に発展させ、林業従事者が誇りをもって現場で活躍できる体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画の作成や森林バンク制度の活用を通じた、森林組合等の「意欲と能力のある林業経営者」へ事業地の集積による、安定的な経営基盤の確立の推進 ・「意欲と能力のある林業経営者」の事業量の確保を通じた、受託施業を行う林業事業者が計画的に雇用や高性能林業機械の更新等を行うことができる環境づくりの推進 ・林業従事者の技術研修(スマート林業人材育成含む)や安全研修を充実と、福利厚生の実施や完全週休二日制の導入による、林業の労働環境の改善
② 品質が確かで付加価値の高い県産材製品を安定的に供給する体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・製材工場等の規模拡大や事業者間の水平・垂直連携を促進による木材加工・流通体制を強化と、人工乾燥材、集成材、CLT、不燃木材などの品質が確かで付加価値の高い県産材製品の安定供給の推進 ・住宅メーカーや工務店等の需要に応じた県産材製品の開発、生産の推進
② 県内の建築物の構造材や内装材における県産材利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅分野における県産材製品のシェア拡大の推進 ・公共建築物や民間非住宅建築物における木造化・木質化を促進に向けた、木造建築に関する設計者等の育成 ・「木づかい運動」の展開を通じた木材利用に係る環境面等の効果のPRの実施
③ 全ての森林が適切に管理され、県民の生活を支える多様なサービスを提供	<ul style="list-style-type: none"> ・森林を「経済林」、「環境林」、「里山の広葉樹林」、「奥地の天然林」、「海岸防災林」に区分し、区分ごとの目指すべき森林の姿に応じた適切な管理・保全の推進 ・人工林は林業経営を通して管理することを基本としたうえで、保安林の整備・保全、公益的機能が低下した手入れ不足人工林の整備や放置竹林の除去等は公的機関が関与して整備を推進 ・防災・減災、国土強靱化のため、土石流等の山地災害リスクの高い山地災害危険地区での治山施設の整備、治山・林道施設の機能強化・老朽化対策、松くい虫防除、抵抗性クロマツの植栽による海岸防災林の再生・保全の推進 ・花粉発生源対策としての主伐と少花粉スギ苗木による植替の推進と、希少野生生物の生息に配慮した森林整備や県民参加の森づくりの推進 ・高精度な森林情報の取得と、森林クラウドで管理・共有の推進